CASBEE-新築（簡易版）

建築物総合環境性能評価システムによる 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築(簡易版)2006年版
■使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2006(v.1.1)

作成日	2007年5月25日	作成者	1900/1/0	確認日	2007年6月1日	確認者	1900/1/0

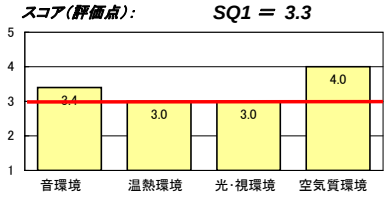
(1) 建物概要

建物名称	(仮称)コースト京都河原町	敷地面積	297 ㎡
建物用途	飲食店	建築面積	261 ㎡
建設地	京都市中京区河原町通蛸薬師上ノ	延床面積	2,080 ㎡
気候区分	地域区分Ⅳ	階数	地上8階/地下1階
地域・地区	商業地域、防火地域	構造	S造
竣工年	2008年5月　予定	平均居住人員	200 人
		年間使用時間	8,760 時間/年

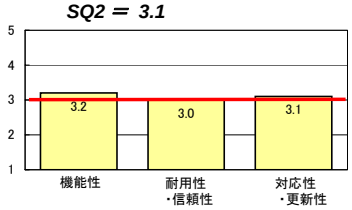
(2)-1 環境性能評価結果（バーチャート）　注1

Q 建築物の環境品質・性能（居住環境のアメニティを向上させる性能評価）　SQ= 3.0

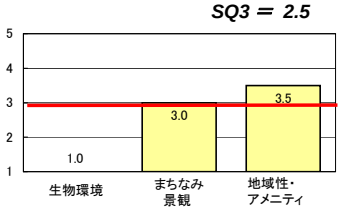
Q-1 室内環境　スコア(評価点)：SQ1 ＝ 3.3



Q-2 サービス性能　SQ2 ＝ 3.1

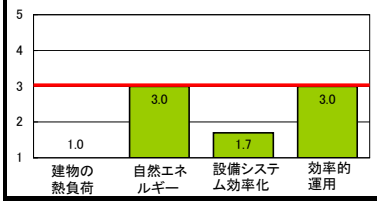


Q-3 室外環境（敷地内）　SQ3 ＝ 2.5

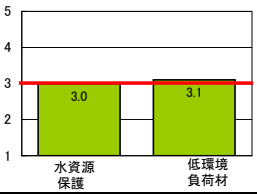


LR 建築物の環境負荷低減性（環境負荷を低減させる性能評価）　SLR= 2.4

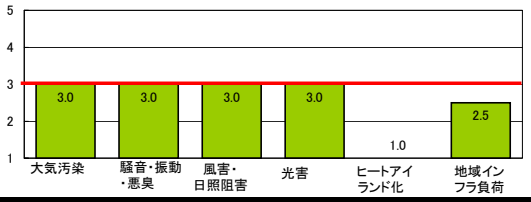
LR-1 エネルギー　スコア(評価点)：SLR1 ＝ 2.0



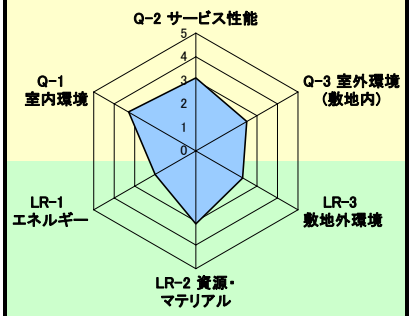
LR-2 資源・マテリアル　SLR2 ＝ 3.1



LR-3 敷地外環境　SLR3 ＝ 2.3



(2)-2 環境性能評価結果（レーダーチャート）　注1

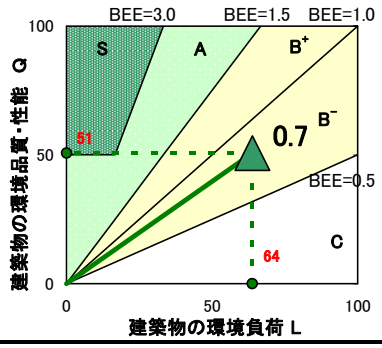


(2)-3 環境性能効率　BEE　注2

$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質・性能 Q}}{\text{建築物の環境負荷 L}}$$

$$= \frac{25 \times (SQ - 1)}{25 \times (5 - SLR)}$$

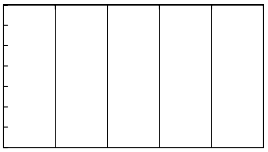
$$= \frac{50.7}{63.8} = 0.7$$



(3) 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目　注3

(3)-1 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標　＜実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入＞

	年間延床面積あたり指標		人・時間あたり指標		年間延床面積あたり削減量		削減率 %
運用エネルギー消費量		MJ/年㎡		MJ/人時		MJ/年㎡	
運用CO_2排出量		kg-CO_2/年㎡		kg-CO_2/人時		kg-CO_2/年㎡	
水消費量		m^3/年㎡		m^3/人時		m^3/年㎡	
LCCO_2排出量		kg-CO_2/年㎡		kg-CO_2/人時		kg-CO_2/年㎡	
LC廃棄物量		t/年㎡		t/人時		t/年㎡	
LC資源消費量		t/年㎡		t/人時		t/年㎡	



(3)-2 デザインプロセスの評価

設計段階	建設段階
有資格者による設計	環境管理計画

凡例　Q：Quality　L：Load　LR：Load Reduction　SQ：Score of Q category　SLR：Score of LR category　BEE：Building Environmental Efficiency

備考
注1：当該対象区における標準的な計画の得点が3点。NAは評価対象外とした項目を示す。敷地選定に関わる評価は対象外。
注2：Qは、環境品質・性能(Q)のスコアSQ(Q-1、Q-2、Q-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。
　　Lは、環境負荷低減性(LR)のスコアSLR(LR-1、LR-2、LR-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。
注3：(3)の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。